



# 千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第17号

令和5年3月14日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

## ◆第37回卒業証書授与式◆

春が近づく季節となりました3月10日(金)、第37回卒業証書授与式を無事に終えることができました。今年度も、新型コロナ禍で、来賓や在校生の出席は叶わなかったものの、お陰様をもちまして、厳粛さの中に温かさを感じる式となりました。

(卒業証書授与式 校長式辞より)

やわらかな日差しに木々の芽も膨らみ、春の息吹を感じるこの良き日に、令和4年度第37回千葉市立貝塚中学校卒業証書授与式を、このように挙行できますこと、この上ない喜びと感じます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来賓の皆様は参列はありません。また、在校生は代表のみの参加となり、他の生徒は映像で式を参観する形になります。改めて、179名の3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。義務教育の9年間を終えられ、1つの節目を迎えたみなさんですが、特にこの3年間は、先の見えない新型コロナ禍、6月の入学、延期や中止に加えて変更が多くなる学校生活。これまでにない大きな生活の変化に直面し、その中で青春の1ページとなる時間を、この学び舎で過ごしましたね。

私は、みなさんとは1年という短い時間を一緒に過ごさせていただきました。その中で、限られた中であっても、今を大切にすることのみなさんの姿勢に、逞しさを感じていました。楽しかった修学旅行、精一杯力を尽くした総合体育大会、全校の中で躍動した貝塚祭の合唱など……。今なお大きく変化をとげている社会情勢の中ですが、その中でも自分の歩幅で、一步一步力強く歩んでいただきたいと、切に願います。「人生は選択の連続」です。その中で特に必要なことは、「自分で決めること」です。そして、自分で決める時に必要な力があります。それは、「自分も、人も大切にすること」「自分で考えて、自分で行動する力」「失敗を恐れずに、チャレンジする力」この3つの力です。人の生き方や考え方を参考にしたい。でも、最後は自分で考え、選択し、どうか、悔いのない人生を歩んでください。

最後になりましたが、3年生の保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。新型コロナ禍の中、お子様を支え続けてこられたことに敬意を表しますとともに、これまで、本校の学校運営深いご理解を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。今後も地域のお一人お一人として、本校を温かく見守っていただくこと。卒業生、そして、ご家族の皆様にも豊かな未来が広がることを願い、式辞といたします。令和5年3月10日 千葉市立貝塚中学校 校長 山口 鉄也

## ◆送る言葉◆

長い冬が明け、春の暖かい日差しを感じる季節となりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

丁度先輩方が入学した時期から新型コロナウイルス感染症の拡大により、厳しい活動の制限がされ始めました。コロナ禍の3年間は、少し窮屈に感じることもあったのではないのでしょうか。そのような中でも私達から見た先輩方は、どんなことにもどんな時でも前向きで、真剣に物事に取り組んでいました。私達はそのような姿を目指し、今も追いかけています。この2年間、色々なことで先輩方に助けられてきました。

1年生の頃、部活動で初めて見た先輩方は、大人びて見えたこともあり、緊張して上手くコミュニケーションが取れずにいました。先輩方は、そんな私に、笑顔で声をかけてくださいました。接しや

すく、優しい先輩方だな、と安心したのを今でも覚えています。夏のコンクールでアクシデントがあった時にも、冷静に対処していただいたおかげでうまく演奏することができました。

1年の後期には生徒会執行部に入り、面識のない先輩との関わりも増えました。やることも増え、戸惑うこともたくさんありました。先輩方は忙しくされている時でも質問をすれば快く丁寧に答えてくださいました。中央委員会や専門委員会で見える先輩方はとても頼もしく、貝塚中学校をよりよくしようという熱意が伝わってきました。生徒集会等の行事。どうしたら皆が楽しく参加することができるのか、何度も話し合いを重ねて、より良い行事にすることができ、先輩方の偉大さを実感しました。

私達にとって3学年揃って行った、初めての大きな行事、貝塚祭。右も左も分からないまま準備が進んでいきました。運営の際には「頑張ってる」等の温かい言葉をかけて頂き、とても励まされました。合唱練習では、1年違うだけでこんなに取り組みに対する熱意が違うのか、と圧倒されました。先輩方の練習を見た後は、私達の士気も上がり、悔いの無い合唱ができました。本番の先輩方の合唱は、言葉が出なくなる程感動しました。

日常生活でも、顔を合わせれば挨拶をしてくださったり、困っていたら声をかけてくださったり。「先輩方、さすがだな」と思う場面が数多くありました。私達の手本として、常に前にいた先輩方。ずっと尊敬していました。そんな頼れる先輩方がいなくなってしまう。不安で寂しいですが、先輩方の自ら行動し、優しく接してくださる背中を、私達は間近で見えてきました。今度は私達が学校を引っ張っていく番です。先輩方に追いつけるかはわかりませんが、この2年間学んできたことを生かして、精一杯頑張っていきます。2年間、本当にありがとうございました。先輩方には感謝してもしきれません。私達の初めての先輩が皆様で、本当に良かったです。

先輩方はこれから、それぞれ違う道に進まれます。「人生は、電車と同じ」と聞いたことがあります。乗り換えないと行けない場所、乗り続けることで見えてくる景色、それぞれのルートで進んだ先で仲間と再会することもあるでしょう。私達は、たくさんの偶然が重なってここにいます。先輩方との出会い、かけがえのない思い出、「絶対に忘れません」。正直、先輩方が卒業されるという実感がわきません。先輩方と過ごした時間は、私達にとってとても大きなものでした。もっと一緒に活動したい。ほんの一秒でも長く同じ時を過ごしたい。そんな気持ちでいっぱいです。

名残は尽きませんが、せつかくの晴れの門出です。やっぱり笑顔で見送ろうと思います。これから先の未来も先輩方が笑顔でいられるよう、在校生一同心よりお祈りし、送る言葉とさせていただきます。令和5年3月10日 在校生代表 2年生女子生徒

## ◆卒業の言葉◆

頬を伝わる風が日に日に和らぎ、景色が春の色に染まる季節となりました。本日は私たちのために素晴らしい式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。この式における関係者の皆様に、卒業生一同心より感謝申し上げます。

私たちは新型コロナウイルスの影響により、例年よりも遅い6月に入学式を迎えました。長い休校期間や分散登校を経て、初めて会うマスク姿のクラスメートや先生方に、とても緊張していたことを今でも覚えています。思えば私たちが過ごした3年間には、感染症によって様々な制限がかけられた時間もありました。体育祭は学年ごとの開催となり、貝塚祭や総体、コンクールが中止となってしまった年もありました。しかし、このようにできることが限られた生活の中だからこそ学べたことが多くあったように思います。

まず、自主的に取り組むこと、ゼロから創造していくことの楽しさを学びました。1年生の時にあったはずの校外学習は行くことが叶いませんでした。もちろんそれは、友人との仲を深め、体験を通して学ぶこともあったであろう貴重な行事なので、それを失ったことは私たちにとって大きなダメージとなりました。しかし、その代わりとしてクラスごとに学年レクの企画、運営を行いました。初めて自分たちで企画したため、当日上手くいかなかったこともありました。しかし、臨機応変に対応することで、自主的に企画したり参加したりすることの楽しさや、物事に柔軟に対応することの大切さを学ぶことができました。また、何も無いところから新しいことを考え形にする、そんな力も育むことができました。その力は3年生になり、修学旅行での班別行動の活動計画に活かすこともできました。このように普通に校外学習に行っていたら気付かなかったかもしれない「自主性」や「創造力」を得ることができたと思います。

次に、自分の行動に責任を持つことの大切さを学びました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校生活においても感染症対策を行う必要がありました。例えば手指消毒や手洗いうがい、ソーシャ

ルディスタンスの確保や給食時の黙食等です。感染症対策は一人一人の責任ある行動の上に成り立つのだと思います。また、委員会活動等も同様に、欠席者の増加や感染症対策に伴い、仕事量が増えたり人員不足が起こったりすることもありました。そのため、各自の行動に対する責任はもちろん、周りの人が困っていたら手を差し伸べる優しさや、広い視野を身につけることもできたのではないのでしょうか。

このように私たちは、制限の多い3年間でも、自主的に取り組むことやゼロから創造していくことの楽しさ、また自分の行動に責任を持つことの大切さ等、これから大人になる上で必要だと思うことを学ぶことができました。これらは制限の多い学校生活だったからこそ、より深く学ぶことができたのではないかと思います。

少し個人的な話をさせてください。私は2年生の時に行われる予定だった貝塚祭をとっても楽しみにしていました。1年生の時よりもよりまとまった合唱をすることができる。先輩方の美しい歌声がもう一度聴ける。そう期待していた私に飛び込んできたのは貝塚祭の中止という現実でした。それを知った時、悲しい気持ちでいっぱいになりました。なぜ中止なのか、必死に練習してきたあの時間はなんだったのか。そんな行き場のない怒りや悲しみだけが残った2年生でした。しかし、そんな私たちに手を差し伸べるかのように絶好の機会が訪れました。3年生になり、まだ完全に感染症が収束していないにもかかわらず、貝塚祭の実施が決まったのです。最後の貝塚祭、私たちは前年度の悔しい気持ちを力に変えて、全力で練習に励みました。ときに互いの思いがすれ違い、感情的になってしまうこともありました。それでも「最高の思い出にしたい」という変わらぬ強い思いがあったから、クラス、そして学年で団結して臨むことができたのだと思います。あの大きなホールいっぱい、私たちの本気の歌声が響いた時の感動は、一生忘れることはないと思います。

互いの顔を見ることができない3年間でした。様々な行事が中止となり、今までとは異なる生活をしなければならぬ環境に、楽しみにしていた中学校生活とはかけ離れてしまった、と感じている人もいるかもしれません。しかし、私はこう考えることもできると思っています。このように制限された環境だったからこそ、そこから学ぶことがたくさんあり、協力を惜しむことなく自分にできることを考え、それぞれが全力で取り組んだ3年間だったと。だって、振り返って今頭の中に浮かぶのは、辛く悲しかった時間よりも、みんなで楽しく笑いあった時間のほうが多いはずだから。そして、そんな3年間を過ごすことができたのは、たくさんの人の支えがあったからだと思います。在校生の皆さん。皆さんと部活動や委員会活動で関わることで、私たちも先輩として成長させてくださいました。皆さんと過ごした時間は私たちの大切な思い出になりました。皆さんの残りの中学校生活が楽しいものになることを祈っています。

先生方は私が失敗したり悩んだりしたときに、優しくそばにいて寄り添ってくださいました。先生同士の仲が良く、楽しそうに関わりあっている姿を見て、私たちも安心してなんでも話すことができました。いつも親身になって相談にのってくださり、ありがとうございました。

私には、小学校の時かわいがってもらった兄的存在の恩師がいます。まさか数年後、担任になるなんて思ってもいませんでした。いつも全力で明るく面倒見の良い先生。そんな先生に憧れ、何事にも全力で取り組んできました。今の私は少しでも先生に近づけていますか。先生が指針でいてくれたから、私はここまで頑張れました。貝塚中はそんな生徒思いの先生ばかりでとても幸せな3年間でした。私たちが思い、自立できるよう時には優しく、時には厳しく、常に私たちを支えてくださったおかげで今日という日を迎えることができました。先生方、本当にありがとうございました。

家族のみんなは、私を心身ともに支えてくれました。時には愛情のこもった言葉や行動を素直に受け止められず、反抗したこともあったけれど、諦めずに何度も話しかけてくれたり話を聞いてくれたりしました。これからも私が歩いていく道を一緒に笑ったり泣いたりしながら見守っててください。生まれてから今日まで、私を愛し育ててくれたのは他でもない両親です。ふとしたことから言い合いになり、冷たい態度をとってしまうこともありました。それでも決して見放すことなく、温かく成長を見守ってくれた父と母のことが私は大好きです。いつもありがとう。

そして3年間を一緒に過ごしてきた179名のみんな。日常生活や行事を通して一緒に笑ったり泣いたり、時には喧嘩したりすることで深まったみんなとの絆は、これからも大切にしていきたい宝物です。たくさんの思い出をありがとう。9年間の義務教育を締めくくる卒業式。私たちはこれから学年だよりのタイトルである独歩のように、貝塚中学校での3年間の思い出を胸に、それぞれの道を歩んでいきます。

今日、私たちはこの貝塚中学校を卒業します。それは未来に向かって歩み始めると同時に、ここにいる仲間と別れることでもあります。一人で歩むことを恐れ、自分の進むべき道が合っているのか、

不安になってしまうこともあるかもしれませんが、しかし、そんな時は、この貝塚中で出会った仲間、そしてここ貝塚中で得た力を糧に、道を切り拓いて進んでいこうと思います。決して止まり諦めることなく、己を信じて一歩ずつそれぞれの道を歩いていきましょう。みんなが自分の夢をその手で掴むことを祈っています。お互い頑張ろう。そしていつか夢のその先で、笑顔のみんなに会えるのを楽しみにしています。

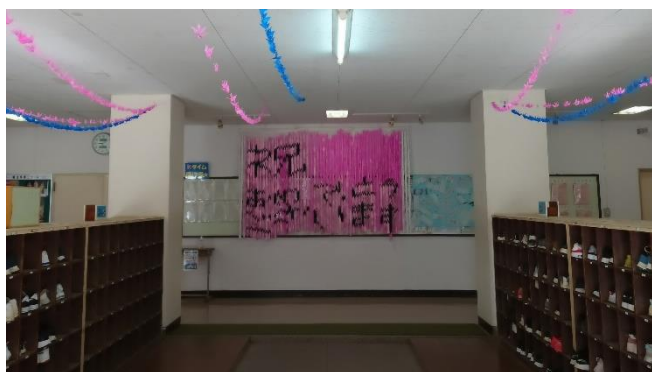
これからの貝塚中の発展を願い、感謝の気持ちを申し上げ、卒業の言葉といたします。本当に、ありがとうございました。令和5年3月10日 千葉市立貝塚中学校卒業生代表 2年生男子生徒・女子生徒

### ◆3年生を送る会◆

3月2日（木）に3年生を送る会を実施しました。今年も全校生徒が体育館に一堂に会することはできませんでしたが、代表が体育館のステージやフロアで劇を演じたり、歌を歌ったりし、その他の生徒は各教室でオンラインで参加する形でした。対面での行事となり、3年生の喜ぶ姿が随所に見られ、演じている1、2年生にもとても充実した時間を一緒に過ごすことができました。

先生方クイズ、先生方の特徴を演じた劇、思い出のワンシーン（写真）等、会場は大盛り上がりでした。公立高校の発表前日の緊張を和らげてくれるように時間になりました。

また、昇降口にはおめでとう装飾、廊下には卒業生に向けたメッセージが飾られました。



【昇降口の装飾：1年生制作】



【対面での送る会】



【体育館のスタンドグラス装飾：2年生制作】



【劇で使用した小道具等：1年生】

### ◆離任式について◆

今年度も、3月末に体育館で全校生徒が集まっての離任式は行いません。その代わりに、3月24日（金）の修了式の中で離任職員のあいさつを行います。詳細は以下の通りです。

- 8：30～ 9：00 修了式（校内TV放送）
- 9：10～10：50 各学年ごと学活及び机等移動
- 11：00～11：30 離任職員のTV放送（卒業した3年生は体育館で参加可）
  - （1）転退職員紹介（異動先は発表しません）
  - （2）花束贈呈
  - （3）転退職員挨拶
  - （4）生徒代表送別の言葉

～11：50 完全下校

※異動先等については、後日新聞発表等で確認してください。